



ボランティアの種類

8. 収集ボランティア活動

多くのものはゴミとして捨てられがちですが、下記の他に、ベルマーク、ロータスクーポン、グリーンマーク、外国コインなどを集めると、いろいろな活動に役立てられます。収集体により、活用方法はさまざまです。

集めた使用済み切手は、種類ごとに整理し、切手業者に買い取ってもらいます。換金された代金は、地域福祉や開発途上国の医療援助など、収集体の目的に応じて活用されています。

使用済み切手 (古切手)



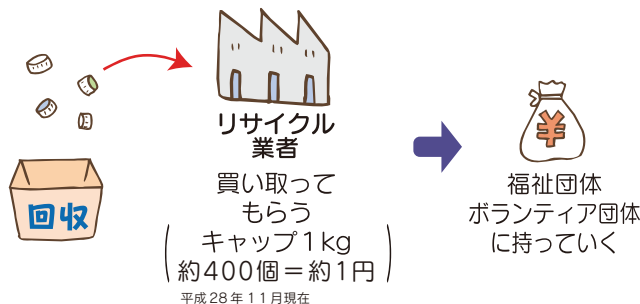
たとえば



医師や看護師などの専門家を海外へ派遣する

ペットボトルの本体と、キャップは異なる材質です。キャップを付けたままで回収すると大半が焼却処分となりますが、キャップを分別して回収し、それを業者に買い取ってもらくと、発展途上国の子どもたちにワクチンを購入することができます。

ペットボトルキャップ



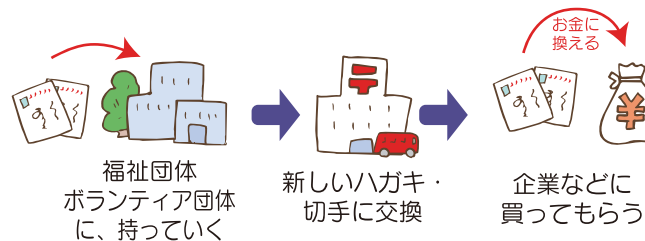
たとえば



世界の子どもにワクチンを届ける

収集した書き損じハガキや余った年賀状等は1枚5円の手数料を払えば郵便局で新しいハガキや切手と交換できます。それを企業などに買ってもらい、福祉団体やボランティア団体などの活動費にあてています。

書き損じハガキ



たとえば

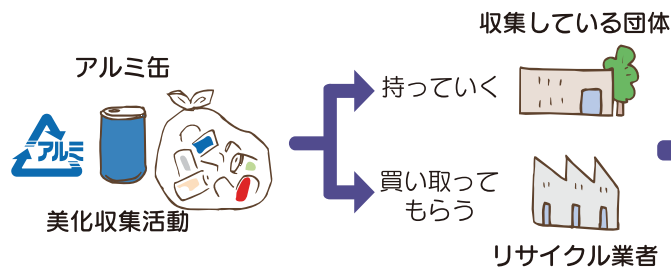


活動費にあてる

集めたアルミ缶は、回収業者に買い取ってもらい換金します。そのお金を福祉活動のための資金にしたり、車いすを購入して施設に寄贈されたりします。

アルミ缶の収集活動は、町の美化にもつながります。

アルミ缶



たとえば



福祉用品を購入

標準車いす1台(7~8万円程度)を購入するのに、アルミ缶が約700kg必要です